

## 2014 年度 小委員会活動成果報告

(2014 年 3 月 3 日作成)

小委員会名	高齢者・障がい者等居住小委員会		主 査 名：石井 敏 就任年月：2014 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会 (住宅計画運営委員会)		委員長名：大原一興 主 査 名：黒野弘靖
設 置 期 間	2014 年 4 月 ～ 2016 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者・障がい者の居住環境の現状と課題</li> <li>・ 被災地で安心して居住することを可能にする居住環境と生活支援</li> <li>・ 高齢者等の地域居住を可能にする上での復興計画の課題とあり方</li> </ul>		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：有		
	主査・石井敏(東北工業大)、幹事・三浦研(大阪市大)、幹事・神吉優美(奈良県立大)、井上由起子(日本社事大)、岡部真智子(静岡英和学院大)、古賀紀江(関東学院大)、小玉善郎(日本福祉大)、橋弘志(実践女子大)、谷本裕香子(東洋大)、富安亮輔(岩手県立大)、西野亜希子(東京大)、橋本彼路子(小山高専)、阪東美智子(国立保健医療科学院)、福西保夫(木庄)、水村容子(東洋大)		
設置 WG (WG 名：目的)	高齢者・障がい者の居住に関わる最新事例集WG(全国に居住するメンバー会員が、全国および被災地における高齢者・障がい者等の居住(施設、住宅、システム)に関わる最新の事例や情報を収集し、データベースとして蓄積する。それらを小委員会の活動(研究会、見学会等)の基礎データとし、学会および会員の研究活動の基盤となる資料とする。)		
2014 年度予算	135,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回 (いずれも WG と合同開催)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	公開研究会「あれから 4 年:仮設から災害公営住宅へ～高齢者・障がい者の暮らしの場を考える」 参加者数 44 名 (パネリスト 4 名を除く。取材 3 件含む) (資料名) 同上
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 宮城、東京、兵庫での見学会を実施。高齢者・障がい者に関わる居住の場の最新事例を収集し、学ぶことができた。</li> <li>2. 被災地における高齢者・障がい者の状況について、見学とあわせて行った勉強会において理解を深めることが出来た。</li> <li>3. スウェーデンからの研究者を招いての、拡大研究会を実施し、海外における高齢者等居住の現状について理解を深めた。</li> <li>4. 公開研究会において、被災地における住宅および復興計画について、広く意見交換をすることができた。</li> </ol>

委員会活動の問題点 ・課題	<ol style="list-style-type: none"><li>1. WG と連動しての情報活動が十分機能しなかった。次年度の課題である。</li><li>2. 事例見学とあわせて行う勉強会、意見交換会で議論を深めてきたが、なかなか全員が参加可能な形での開催が出来なかった。日程調整のあり方を含めて検討する。</li></ol>
------------------	--

\*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。

\*表中の「(書名)」等の赤文字は、記述を誘導するための説明である。記載の有無にかかわらず最終的には削除のうえ提出すること。